事業の実施内容及び成果に関する報告書

- 事業名 地域連携型サイクリングクラブ運営事業「Cycle Smile Japan プロジェクト」
- 2. 事業の実施経過
- (1) 事務手続き関係

2023年2月28日 申請書提出

2023年3月29日 決定通知書受理

2023年3月29日 事業の決定

2024年1月25日 概算助成金の受領(881,300円)

2023年11月19日~2月25日 事業の実施

2024年3月31日 事業完了報告書提出

- (2) 事務関係
- 3. 事業実施内容及び成果
- (1) 事業内容

別添を参照

- 別添 1…実施報告書
- 別添 2…参加者名簿

(2) 成果

- ■Cycle Smile いわきサイクリングクラブ
- (1)自転車競技普及のための競輪場活用

本場開催日程および競輪選手のトレーニング時間を考慮したうえで、2023年11月から2024年2月にかけて計3回開催できた。東北の中では温暖な気候で、初心者でも走行しやすい周長400mのいわき平競輪場は普及活動としての利用に適していた。クラブ開催中に限り子ども用自転車や様々なスポーツバイクでのバンク内走行も許可(子どもは退避路のみ)してもらい、トラック競技場特有の傾斜やスピードを味わう機会を設けることで、地域の自転車愛好者たちの自転車競技トラック種目への興味や理解を深めることができた。また、トラックバイクのレンタルは継続的に人気であり、ロードバイク愛好者にもトラック種目という自転車競技の新たな魅力を発信する機会にもなった。

②初心者でも参加しやすい機会の提供

初心者でも参加しやすい雰囲気づくりとして、車の来ない安全な走路であることの 周知、自転車やヘルメットなどの備品レンタル、初心者に対応できる指導員の配置を 実施した。

③若年層および障がい者のスポーツへの参加促進

子どもや若年層の参加が増えている(当初は2名程度であったが現在は3~5名の参加がある)。学校の休日にバンク走行会に参加することは、サイクルスポーツの普及はもとより、身体活動量低下が懸念される年代へのスポーツ活動量の増大につながることが期待できる。こうした身体活動量の低下を懸念する側面は障がい者の方にも通ずるものである。今年度は視覚障がい者の参加があり、視力を失ってから8年ぶりに自転車に乗ることを実現できた。従来のイベントでは走力の違いやリスク管理に配慮することで手間や人手がかかるなどのイメージにより、健常者と障がい者が同じフィールドでスポーツを楽しむ機会は少ない印象であった。しかし、競技場のようなクローズドな場所で実施すれば問題なくともに楽しめるということがアピールでき、すべての人が参加しやすい雰囲気を作ることができた。また、自転車という乗り物がどんな人にも身近であり、サイクルスポーツが年齢や障がいの有無に関係なく楽しめるものであるということが改めて認識できた。

③指導員の養成

初心者を指導できる指導員に加え、地元競輪場のメカニックである人材を毎開催配置。参加者により安全に走行してもらえるよう、自転車や機材の点検を十分に実施できた。指導員は当初の4名からメカニックを含む6名に増員し、連盟スタッフとともに多数の参加者の安全管理を実現できた。

■Cycle Smile HAND サイクリングクラブ

①ハンドサイクル競技の体験・トレーニング

下肢に障害のある方も手で漕いで参加することができるハンドサイクルの体験会及びトレーニングを行う「Cycle Smile HAND サイクリングクラブ」を立ち上げ、2024年2月~3月までで計4回開催した。ハンドサイクル競技経験者と現役の競輪選手が指導員となり、クラブを運営。ハンドサイクル競技の初心者で、これから競技を始めようとする人から本格的に選手を目指す人などが参加した。参加者は初歩的なハンドサイクルの乗車方法や安全な公道の走行方法など基礎的な技術を学びながら、中・長距離の走行トレーニングにも意欲的に参画することができた。

②ハンドサイクル認知度の向上

拠点とした土浦市周辺で継続的にサイクリングクラブを開催したことで、他サイクリ

ストからも多く声をかけてもらえるようになり、ハンドサイクルの認知度の向上に貢献 した。

③障害者と健常者共に自転車競技に親しめる環境づくり

ハンドサイクル競技経験者と現役の競輪選手による指導員体制のもと、障害者と健常者が共に自転車競技に親しめる環境を構築できることができた。また、現役の競輪選手が指導員として参加してくれていることで、参加者がハンドサイクルだけでなく競輪や自転車のトラックレース等にも興味を持つようになり、障害の有無に関わらず自転車競技の普及に資する活動となった。

4. 業界等において今後予想される効果

これまで、自転車競技の普及活動は多くの場所で実施されている。スポーツバイク体験会や競輪場の走行体験会などは全国各地で実施されており、アクティビティとしてのサイクルスポーツの認知度は年々向上している印象である。しかし、競技者を目指す人材の発掘と育成という観点で見ると、競技に興味を持ったとしても、基礎を学ぶ場所と機会・継続してトレーニングする場所の確保について、地域によっては敷居が高いところもある(指導者がいない、イベントが少ない、競技場を開放していないなど)。特にトラック競技においては、専用の機材や練習できる競輪場および競技場の手配は初心者にとって特に敷居が高い。さらに、初心者を指導できる指導者が少ないのも課題である。そこで、機材もレンタルでき、毎月競輪場で開催するクラブ活動形式の方法は、乗車方法やトレーニングを基礎から学べ、若年層のうちから段階的に競技に親しめる環境として位置づけられ、各地域でも実現できる活動である。アスリートパスウェイの一環として、発掘の次のステップである育成段階としての活用も期待できる。

また、トラックサイクリングキャンプ (ガールズキャンプ) などで学べる自転車競技の基礎を、全国でも同じように継続して学べる環境の提供のため、自転車競技指導マニュアルを使用した統一感のある指導スタイルはこの先業界としても非常に大切になってくる。各地で統一された指導育成が実現できれば、キャンプでの発掘に加え「トラック競技を体験したその後」までカバーでき、競技の道へ進む人材の育成につなげることができる。特定の場所ではなく、地域単位での運営と指導者育成が進めば、愛好者から競技者予備軍までのすそ野拡大効果が期待できる。

トラック競技同様、パラサイクリング競技においても専用の機材や指導者が少ないことは課題である。特にハンドサイクル競技においては、脊椎損傷などにより下肢などに障害のある方が該当する競技であることから、サイクルスマイルの中でも別立てて実施する必要があった。ハンドサイクル競技経験者が指導者に回ることで、それぞれの障害特性に合わせた体験やトレーニング方法の提案が可能となる。まずは楽しみながら競技に親しんでもらうところからスタートしていくが、全日本選手権参加やナショナルチームへの参画を目指す選手の発掘・育成にもつながることが期待できる。

■Cycle Smile HAND サイクリングクラブ

【第1回】

実施日時: 2024年2月10日~12日

開催場所:渡良瀬遊水地、霞ヶ浦サイクリングロード

参加人数:2名指導員:3名

実施内容:

①ロード練習

②ハンドバイク メンテナンス講習

所 感:

サイクルスマイルプロジェクトの中でハンドサイクルに絞ったサイクリングクラブである、「Cycle Smile HAND」を実施した。1名は頚椎損傷のため自分でのハンドサイクルの乗り降りができないため指導員にてハンドサイクルの乗り降りのサポートを行った。1日目は渡良瀬遊水地のサイクリングコースを使用し安全確認、ペダリング等の指導を行った。2日目、3日目は霞ヶ浦サイクリングコースを使用し指導員と平地でのロード練習会を実施した。指導員がいることで安全にロード練習を実施できハンドサイクル初心者でも安全に公道を走行することができた。サポートを含めてパラサイクリング連盟の指導員がいることで参加者が適度な緊張感を持ちながら安全に実施できた。







【第2回】

実施日時: 2024 年 2 月 24 日~25 日 開催場所: 霞ヶ浦サイクリングロード

参加人数:2名 指導員:2名

実施内容:①ロード練習

所 感:

第2回目となる、「Cycle Smile HAND」を参加者2名と指導員2名にて霞ヶ浦で実施した。2日間、霞ヶ浦サイクリングコースを使用し指導員とロード練習会を実施した。初日の練習会では平地だけでなく登りを含めたコースを50km 走行した。2日目は小雨が降る中での練習会となったため走行時間を短くして実施した。2日間とも事故なく安全に公道を走行することができた。雨天時についてはロード練習ではない別の練習メニューを検討する。





【第3回】

実施日時: 2024 年 3 月 9 日~10 日 開催場所: 霞ヶ浦サイクリングロード

参加人数:2名 指導員:3名

実施内容:①ロード練習

所 感:

第3回「Cycle Smile HAND」を参加者2名と指導員3名にて2日間、霞ヶ浦サイクリングコースを使用し指導員とロード練習会を実施した。3回目のため基礎的技術、体力も向上してきており、2日間を通して100km以上の距離を走ることができた。又、霞ヶ浦を拠点に練習会を実施することで声をかけてくれる人が増えてきておりハンドサイクルの認知度が徐々に上がってきていることを実感した。





【第4回】

実施日時: 2024 年 3 月 23 日~24 日 開催場所: 霞ヶ浦サイクリングロード

参加人数:3名 指導員:3名

実施内容:①ロード練習

所 感:

第4回ハンドサイクル練習会を参加者3名と指導員3名にて2日間、渡良瀬遊水地と霞ヶ浦サイクリングコースを使用し指導員とロード練習会を実施した。1日目の渡瀬遊水地では2名の参加者に対して練習会の成果確認としてタイム測定を実施した。その結果、2名とも練習会前よりもタイムの向上が見られたことから練習会の成果を実感できた。2日目は新たな参加者1名を加えて3名の参加者で霞ヶ浦でのロード練習を実施した。参加人数は少ないがハンドサイクル5台での走行をすることで多くのサイクリストから応援の声をかけていただいた。指導員に現役の競輪選手が参加してくれていることで参加者がハンドサイクルだけでなく競輪や自転車のトラックレース等にも興味を頂くようになったと感じた。今後は参加者を増やすための検討をしていく。又、頚椎損傷の選手は体温管理ができないため特に暑さ対策についての対処も検討していく。











■Cycle Smile いわきサイクリングクラブ

【第1回】

実施日時: 令和5年11月19日(日) 13:00~15:30

開催場所:いわき平競輪場

参加人数:42名

指導員:3名

スタッフ:3名(JPCF3名)

実施内容:

①ロードバイクでのバンク走行体験

②トラックバイクでのバンク走行体験

③200m タイムトライアル

④こどもタイムトライアル

所 感:

40 名を超える参加申し込みがあり、バンク走行会の人気が伺える開催となった。今回は視覚障がいの方の参加もあり、タンデム自転車を体験してもらうことが出来た。このように障がいのある方が参加しても、スタッフからすぐにパイロット役を出すことができるのはパラサイクリング連盟の事業ならではであると感じる。今回はこどもの参加や10 代の参加者が多く、トラック走行体験が若年層にも浸透してきていることを実感できた。









【第2回】

実施日時: 令和6年1月7日(日) 13:00~15:30

開催場所:いわき平競輪場

参加人数:37名

指導員:3名

スタッフ:3名(JPCF3名)

実施内容:

①ロードバイクでのバンク走行体験 ②トラックバイクでのバンク走行体験

③200m タイムトライアル ④こどもタイムトライアル

所 感:

今回も 30 名を越える参加申し込みがあった。約半数は今年度の初参加、および走行会 自体が初参加であり、リピーターのみに偏る運営にならずバランスよく募集できている。 トラックバイクのレンタルも好評であり、愛好者が増加していることを感じた。女性や 子どもの参加も増えてきたので、よりハードルを下げた内容での開催方法も検討したい。









【第3回】

実施日時: 令和6年2月25日(日) 13:00~15:30

開催場所:いわき平競輪場

参加人数:28名

指導員:3名

スタッフ:3名(JPCF3名)

実施内容:

①ロードバイクでのバンク走行体験 ②トラックバイクでのバンク走行体験

③200m タイムトライアル ④こどもタイムトライアル

所 感:

今年度最後の開催は、市内のマラソン大会と同日程だったため市内の参加者は少なく、他県や他市からの参加がいつもよりも多い印象であった。雨天予報のため時間を短縮して実施した。気温が低く、風も冷たい中での開催となったが、今後は初心者にも自転車乗車時の防寒対策を事前に教える機会を設けることも検討する。3年度目の実施であるが、当初はバンク走行の体験に重点を置いていた参加者も、タイムへの挑戦や競輪観戦に対して興味を抱くことが多くなったように感じる。特にいわき市民にはより競輪と競技を身近に感じてもらえるよう今後も努力したい。







